

車名所

〔玉轂〕歌と文との詞の差別

車を、小車といふは、歌詞也、文にはたゞ車といふべし、

〔和漢三才圖會三十三〕車車駕

按、車有數品、所圖者、略圖轎車也、俗云御轎者車之蔽也、車耳反出、所以爲藩屏、翳塵泥、以簞爲之、或用

革、俗謂之屋形、有二十八轆、以象列星也、轆音聊轎上之椽也、車上重起、如牛角者曰較、音覺輪之心曰轂、音谷轂中

橫截者曰軸、音送軸末謂軹、車前橫木可憑者曰軾、音釋後橫木曰軫、音同軸上伏兔曰鞮、音ト車下索曰轉、音ト在車

下與輿相連縛者也、

車蓋

〔倭名類聚抄十一〕車蓋附轎 大戴禮云、車蓋、俗車屋形、二十八轆、以象列星也、野王案、音老轎車蓋上椽也、

〔箋注倭名類聚抄三〕具轎蓋又也、如屋構椽也、說文、轎蓋弓也、按車蓋謂車上樹蓋、以蔭蔽耳、與此間

車屋形、其制不同、

〔類聚名義抄九〕車蓋ヤカタ 車屋形同

〔延喜式十七〕內匠牛車一具、屋形、長八尺、高三尺、四寸、廣三尺二寸、

〔西宮記四月〕賀茂祭事

今日左右馬寮、申請祭料、車屋形、文史申辨、辨申上卿、下宣旨、大藏省、

〔枕草子九〕五月ばかり、山里にありく、いみじうおかし、略○中左右にある垣の枝などのか、りて、車

の屋形にいるも、いそぎとらへて折らんと思ふに、ふとはづれて過ぎぬるも口惜し、

〔輿車圖考九〕廂

車のまへうしろ、物見の上へ、さし出たるひさしをいふ、

〔門室有職抄〕一車様事

庇車略○中

庇